

呉市倉橋町「お宝とまと」販売額 2年連続2億円達成 ～7月豪雨に負けず、次年度作に向けて取組み開始～

【平成30年8月10日掲載】

呉市倉橋町の「お宝とまと」を生産している倉橋町施設野菜生産組合（立花達也（たちばなたつや）組合長，構成員10戸，1法人，栽培面積3.6ha）の平成29年産トマト販売額（出荷期間 H29.12～H30.7）が，2年連続で2億円を超えました。

平成29年産は，秋～冬期の日照不足や低温の影響により，例年より2週間程度遅い出荷となり，1月の出荷量も果実の小玉傾向もあり，前年の60%と少なく，厳しいスタートとなりました。



しかし，担い手が中心となり，樹勢や気象に適應した管理に取組み，2月以降は前年を上回る出荷量となりました。

また，冬期の日照不足による品質低下対策として，全面白マルチの被覆による反射光利用を試験的に取り組んだところ，効果が確認できたことから，次年度以降，導入していく予定です。

【全面白マルチ被覆試験】
7月6日の豪雨により，倉橋町は大きな被害を受けました。生産者は猛暑の中，消防団員として倉橋地域の復興に尽力するとともに，収穫の終わったトマトハウスの片付けをしました。また，今回の豪雨で排水不良が明確になった部分の改修や，次年度の栽培に向けて準備を進めています。平成30年作は，面積を10a程度増やし，前年度と同じく9月中旬からに定植を行う予定です。



【次作に向けた排水対策】